

石炭受入 1 億トン到達について

平成23年3月10日
北陸電力株式会社

当社は、本日(3月10日)、火力発電用燃料となる石炭の受入量が、累計で 1 億トンに到達しましたのでお知らせいたします。

石炭は賦存量が多く、世界中に広く分布しており、他の燃料に比べて価格が低位で比較的安定していることから、エネルギーセキュリティおよび経済性の面で優れた化石燃料であり、長期的なエネルギーの安定供給を確保するうえで必要不可欠なエネルギーです。

当社は、富山新港、敦賀、七尾大田の 3 石炭火力発電所を運営しており、昭和 59 年に石炭の受入を開始して以来、今回(3月7日～10日)の敦賀での受入をもって石炭の累計受入量が 1 億トンに到達いたしました。発電所の運営に、ご理解・ご協力いただいた関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

今後も引き続き、発電所の安全・安定運転に努めるとともに、環境負荷の軽減にも積極的に取り組んでまいります。

【石炭火力発電所の概要】

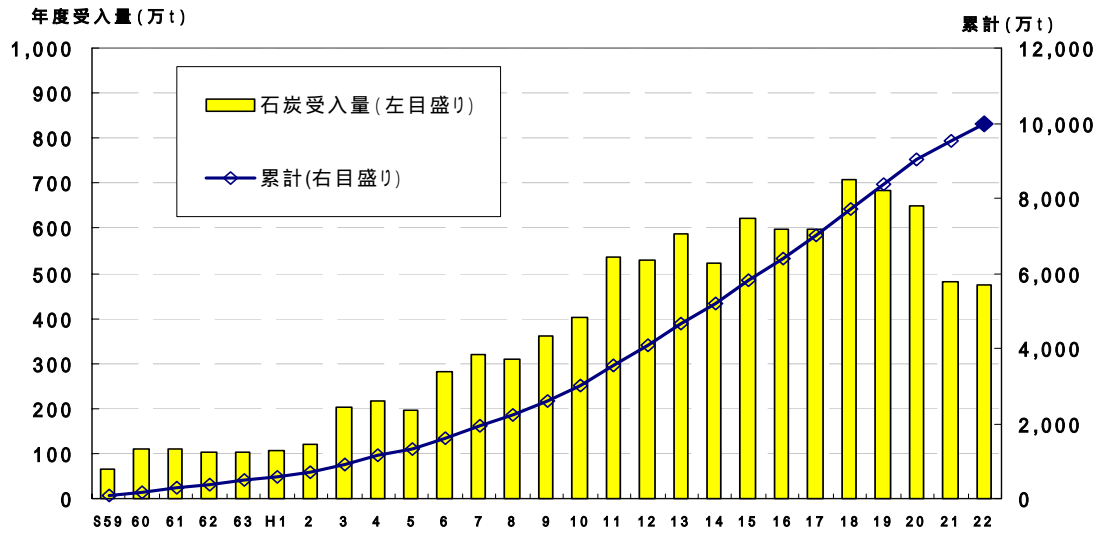
発電所	ユニット名称	出力	運転開始年月
富山新港火力	石炭 1 号機	25万kW	昭和59年11月
	石炭 2 号機	25万kW	昭和59年12月
敦賀火力	1 号機	50万kW	平成 3年10月
	2 号機	70万kW	平成12年 9月
七尾大田火力	1 号機	50万kW	平成 7年 3月
	2 号機	70万kW	平成10年 7月

平成16年4月に富山共同火力発電(株)を合併しユニット名称を変更。
富山新港共同火力発電所1号機 富山新港火力発電所 石炭1号機
富山新港共同火力発電所2号機 富山新港火力発電所 石炭2号機

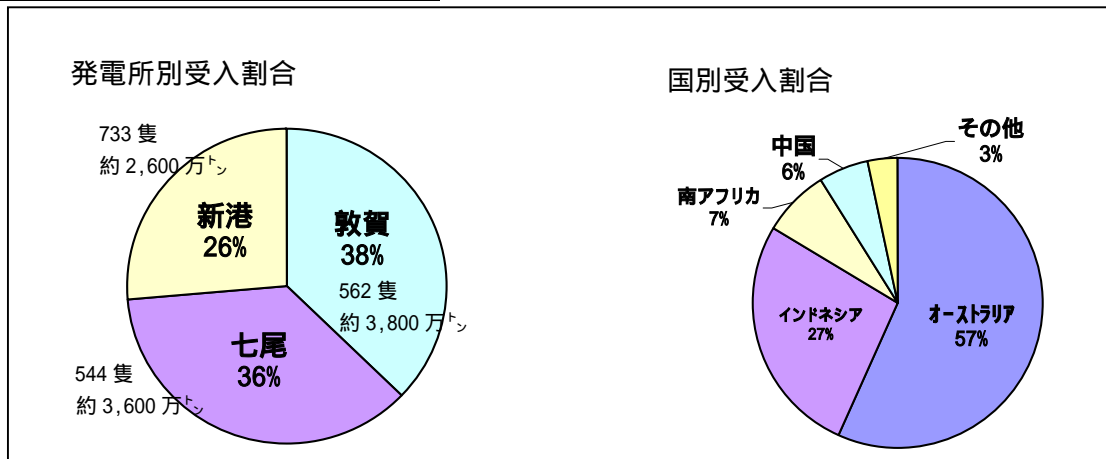
以上

石炭受入量の推移

(平成 23 年 3 月 10 日時点)



石炭受入量（1億トン）の内訳



荷役の様子



以上